

## 6月の栽培管理について

向こう1か月の天候の見通し（近畿地方5月22日～6月21日：大阪管区気象台）

- ・平均気温は、やや低くなり、降水量はやや多く、日照時間は少ない見込み

あわせて現地巡回ではほ場を拝見した結果を踏まえ以下のことを提案しますのでご検討ください。

### ☆ほ場の排水対策

雨水がほ場より速やかにぬけるようしっかりと排水路を確保しましょう。

### ☆病害の防除の実施

「べと病」「軟腐病」「疫病」「白絹病」が発生しやすくなります。病気の菌は常に存在していますので、晴れ間を狙って防除を行いましょう。特に、**低日照で低温・高湿度条件下では難防除である「疫病」が発生しやすいことからご注意ください。**

☆梅雨中から明け後の高温期に葱はゆっくりとしか生育しません。高温期に無理に土寄せすると傷がつき、病気が発生しやすくなります。高温期は必要最低限の土寄せ量とし、葉の分岐点が埋まってしまわないようにご注意ください。

### <防除例>

- ① リドミルゴールドMZ、アリエッティ水和剤、プロポーズ顆粒水和剤

**重要：べと・疫病対策としてこの3剤によるローテーション散布実施**

- ② オリゼメート粒剤、スターナ水和剤（軟腐病）

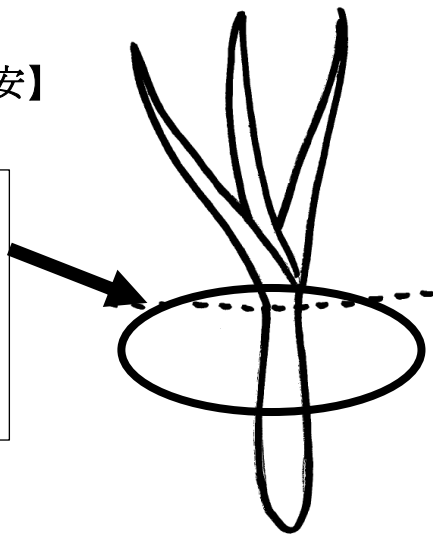
- ③ モンガリット粒剤、リゾレックス水和剤（白絹病）

- ④ スタークル顆粒水溶剤（アザミウマ類等）+ バイオキーパー水和剤（軟腐病）

※バイオキーパー水和剤（予防剤）使用についてはJA等にお問い合わせください。

### 【高温期の土寄せの目安】

葉の分岐点以上に土寄せすると危険です。葉が柔らかいので傷つきやすく病気にかかりやすくなります。



この点線以上の土寄せは要注意！

<主な農薬一覧>

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
疫病	アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	800倍	3回以内	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
べと病	アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	800倍	3回以内	殺菌(治療)
べと病	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	2000倍	4回以内	殺菌(治療)
べと病 注1	プロポーズ顆粒水和剤	収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)
べと病 注1	リドミルゴールドMZ	収穫30日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
軟腐病	オリゼメート粒剤	土寄せ時 収穫30日前まで	6kg/10a	2回以内	殺菌(予防)
軟腐病	ヨネポン水和剤	収穫7日前まで	500倍	4回以内	殺菌(予防)
軟腐病	カスミンボルドー	収穫14日前まで	1000倍	2回以内	殺菌(治療)
軟腐病	スターナ水和剤	収穫7日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
軟腐病	バリダシン液剤5	収穫21日前まで	500倍	1回	殺菌(治療)

対象病名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
白絹病	モンガリット粒剤	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	4~6kg/10a	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	モンカット粒剤	土寄せ時 但し、収穫30日前まで	4~6kg/10a	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	モンカットフロアブル40	土寄せ時 但し、収穫30日前まで	2000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	ロブラール水和剤	収穫14日前まで	500~1000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	リブレックス水和剤	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	1000倍	3回以内	殺菌(治療)
白絹病	アフエットフロアブル	生育期 但し、収穫14日前まで	1000~2000倍	2回以内	殺菌(治療)

適用病虫害雑草名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数	効果
アザミウマ類 注5	スタークル顆粒水溶剤	収穫3日前まで	2000倍	2回以内	殺虫

注1: 他の野菜で疫病の登録があるもの

農薬登録：令和3年6月4日

注2: 農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器のラベルに従ってください。

注3: 高温時の散布は薬害が危惧されるため避けてください。

注4: 発病の状況に応じて、農薬は変更してください。

注5: ハモグリバエ類の登録あり。